学校と地域を結ぶお元気情報 ＮＯ．７
大仙市立神宮寺小学校
学校支援地域コーディネーター
2010年4月16日発行

おいだらぼっち

題字 2年 なかざわこうほ　　絵 3年 宮原杏奈

おいだらぼっちは神宮寺嶽を背負ってきた心やさしい伝説の巨人

おとなも子どももいっせいにスタート！

本年度もよろしくお願いします。(神宮寺小学校学校支援地域本部)

**人間は心の中に小さな花火を
もっている。
その名は、ロマン・希望・幸福感。
まだまだある。
夜、眠る前にその小さな線香花火が
静かに弾ける。**

　これは、ある無名の詩人の言葉です。神宮寺小学校は、子どもたちのロマンを育む所です。夢ではなく具体性のある、言葉の持つ素晴らしい力を学ぶ国語、人間の幸福のための科学を学ぶ理科、数の持つ不思議な法則を考える算数。その学びに、子どもも先生も楽しくいそしんでいます。

　学校支援は、それをサポートする役目をもっています。支援というのは「学校を応援する」ことです。

　昨年もそれ以前からも、多くの皆さんから色々な応援をいただき、子どもたちの心が豊かになり、考える力と根気が確かに育ってきています。これが伝統になりました。

　あなたの学校への応援は、先生方の指導の実力を存分に発揮していただくために絶対に必要です。

　愛する子どもたちのために、あなたの力をかしてください。

**あなたの応援で、あなたと子どもの心に
達成感の花火が美しく弾ける夜が
いつもありますように・・・**

※学校支援の内容は、別に配布される資料をごらんください。

ちょっとでかけてみませんか？

アズマイチゲとキクザキイチリンソウの大群生が、堤防のイヌアカシアの林床に

雄物川の堤防を嶽見橋から北楢岡方面に３００メートル程進むと、左手にイヌアカシヤの林があります。二つめの林下に、アズマイチゲが咲き始めました。大きな群生で専門の先生が驚いていました。やや遅れてキクザキイチリンソウが満開になります。キクザキの方が林床の全面に敷き詰めます。すごいですよ。踏みつけないように観察しましょう。キバハノアマナやナニワズの黄花も見られます。

アズマイチゲ

キクザキイチリンソウ

※子どもを抱きしめていますか。今日の話を聞きましたか。